

税理士の ひとりごと

No. 150

ドロップアウト願望

税理士 齋藤明

世の中からドロップアウトをしたいと思っただけではありませんか？ 私はしばしば、そんな気持ちになることがあります。そう思うその一方で、そんなことをしたら自分の中の枠組みから外れて、社会不適合のダメ人間になってしまうような気がして不安になってしまいます。

そんな私は、たとえば新規に仕事の依頼をいただいた時など、昔なら「嬉しい」と思ったはずなのですが、最近では「面倒くさいな」なんて不謹慎なことを思ってしまうようになってしまいました。あるいは、知り合いから「業界の有名な人を紹介するから飲みに行こう」と誘っていただいたとしても、「知らない人に気を遣ってお酒を飲むの、何だかシンドイわ」なんてことをまず真っ先に考えてしまい、即刻お断りしてしまいます。そうやってドンドンと自分が内向的になって、内側から少しずつ腐食していつてしまうようなネガ

ティブなイメージが、私を不安な気持ちにさせているのでしょうか。

一般的に、食べ物を放っておくと腐る原因は、細菌やカビなどの微生物が増殖するか、あるいは、食品に含まれる酵素が食品成分を分解するからなんだと説明されます。きっと私もそんな放置された食品と同様に、私の心の内部にネガティブな気持ちにさせる、何か^がが知らず知らずのうちに増殖していて、それが私の脳内の、前向きな気持ちにさせる素^が、みたいなものをジワジワと分解して、私の腐食を進行させているのかもしれない。

もしそうなのだとしたら、私をそのようにさせている原因はいったい何なのだろうか？ということを考えてみたのですが、それはどうやら年々私に欲がなくなっていることに起因していると思われるのです。もっと稼ぎたい(金欲)とかもっと有名になりたい(承認欲求)とか、そういう現実社会に渦巻